

## 入院診療計画書

病棟:

治療方針 : 腹膜透析関連腹膜炎 ver.1

年 月 日

様

特別な栄養管理の必要性 有・無

推定される入院期間 : 4~14日間

主治医:

担当看護師:

患者様サイン欄:

ご家族サイン欄:

		入院日～退院日まで
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・腹痛等の症状があればそれを伝えることができる</li> <li>・排液の性状を観察し、記録ができる、またそれを伝えることができる</li> <li>・手技の再確認を行い、腹膜炎の再発予防に努めることができます</li> </ul>	
安静度 リハビリ 退院	<p>症状に応じて病院内フリーです。</p> 	
食事	<p>たんぱく質調整食( ) カロリー( )kcal/日、塩分5-6g/日、タンパク( )g/日、カリウム( )mg/日です。 飲水制限1000ml/日に制限します。</p>	
注射・薬剤	<p>抗生素加療を開始します。</p>	
検査	<p>入院に伴い各種検査を実施します。血液検査、胸腹部レントゲン、心電図、排液検査等。 その他必要に応じて適宜行います。</p>	
処置	<p>腹膜透析を継続します。透析液に抗生素を加え抗生素の腹腔内貯留も行います。 APDの方は腹膜炎加療中一時的にCAPDに変更することがあります。</p>	
清潔 (シャワー・入浴など)	<p>症状に応じて医師の判断でシャワー・入浴可です。</p> 	
排泄	<p>症状に応じてトイレにて自由です。</p>	
患者様及び ご家族への説明	<p>まずは抗生素にて腹膜炎の加療を行います。状況次第でカテーテル抜去術を検討することができます。 また、入院中手技の再確認を行い腹膜炎再発予防を行います。</p>	



板橋中央総合病院

注1) 病名及び治療内容等は、入院時に考えられるものですので、検査・治療を進めていくにしたがい変更することがあります。

注2) 入院期間、表記の日時については入院時での予定です。